

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-63259(P2006-63259A)

【公開日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-010

【出願番号】特願2004-250022(P2004-250022)

【国際特許分類】

C 08 L	67/04	(2006.01)
C 08 G	18/62	(2006.01)
C 08 K	5/00	(2006.01)
C 08 L	61/02	(2006.01)
C 08 L	63/00	(2006.01)
C 09 D	5/02	(2006.01)
C 09 D	161/20	(2006.01)
C 09 D	163/00	(2006.01)
C 09 D	167/04	(2006.01)
C 09 D	175/04	(2006.01)
C 09 J	161/20	(2006.01)
C 09 J	163/00	(2006.01)
C 09 J	167/04	(2006.01)
C 09 J	175/04	(2006.01)

【F I】

C 08 L	67/04	
C 08 G	18/62	
C 08 K	5/00	
C 08 L	61/02	
C 08 L	63/00	A
C 09 D	5/02	
C 09 D	161/20	
C 09 D	163/00	
C 09 D	167/04	
C 09 D	175/04	
C 09 J	161/20	
C 09 J	163/00	
C 09 J	167/04	
C 09 J	175/04	

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月27日(2007.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

末端基の80%以上が水酸基であり、かつ数平均分子量が2000~50000のハイパー・ブランチポリエステル(I)、沸点が60~200の水溶性有機化合物(II)およ

び水(Ⅲ)を含有し、(Ⅰ)、(Ⅱ)、(Ⅲ)の合計量を100重量%としたときに、(Ⅰ)が10～70重量%、(Ⅱ)が2～40重量%、(Ⅲ)が20～88重量%であり、しかも下記式の比率を満足することを特徴とする水系分散体。

$$0.05 < [(Ⅱ)の重量 / \{(Ⅱ)の重量 + (Ⅲ)の重量\}] < 1$$

【請求項2】

請求項1に記載の水系分散体に加えて、アミノ樹脂、エポキシ樹脂およびイソシアネート化合物からなる群より選ばれた1種以上の化合物を含有してなることを特徴とする水系樹脂組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち本発明は、末端基の80%以上が水酸基であり、かつ数平均分子量が2000～50000のハイパープランチポリエステル(Ⅰ)、沸点が60～200の水溶性有機化合物(Ⅱ)および水(Ⅲ)を含有し、(Ⅰ)、(Ⅱ)、(Ⅲ)の合計量を100重量%としたときに、(Ⅰ)が10～70重量%、(Ⅱ)が2～40重量%、(Ⅲ)が20～88重量%であり、しかも下記式の比率を満足することを特徴とする水系分散体である。

$$0.05 < [(Ⅱ)の重量 / \{(Ⅱ)の重量 + (Ⅲ)の重量\}] < 1$$

また、上記水系分散体に、さらに、アミノ樹脂、エポキシ樹脂およびイソシアネート化合物からなる群より選ばれた1種以上の化合物を含有してなることを特徴とする水系樹脂組成物である。